

# 令和4年度（2022年度）法人本部拠点事業報告

## 《本部》

### I. 事業総括

本部拠点(事務局)は理事長の指示に基づき、本会の業務全般を統括するとともに、各事業間の連絡・調整を図り、適正な運営と円滑な業務の遂行に努めました。また、役員等との連携により「経営組織のガバナンス強化」等マネジメント体制の強化に取り組みました。

長期ビジョンを実現するため諸施策を講じ、法人としての付加価値を高め持続的可能な経営の安定化を目指しました。地域との関係性を強化するため、多様なニーズの対応や広報機能を高め、本会の魅力とブランド力を高めることに努めました。

### II. 事業目標に対する評価

#### 1. 利用者サービスの充実

KG I (最重要目標指標)	指標名	指標値	実績
	収益計画達成率	100%	33.4%

【\* 指標値は経常増減差額 70 百万円(本部拠点経費控除前)、25 百万円(本部拠点経費控除後)】

経常増減差額の実績は 23.44 百万円と目標値を大きく下回りました。

#### 2. 地域社会との関係性強化

KG I (最重要目標指標)	指標名	指標値	実績
	ホームページアクセス数	年間 7,000 件	年間 6,444 件 (92.1%)

地域住民の方へ、各拠点の事業活動等情報の発信に努めました。新規ユーザーの獲得数が伸び悩み年間指標値に届きませんでした。

#### 3. 生産性向上

KG I (最重要目標指標)	指標名	指標値	実績
	人時生産性	75.44 千円	69.15 千円
	労働生産性	143,649 千円	136,510 千円

法人全体の付加価値額は、目標値 861.9 百万円に対して実績は 819.1 百万円(達成率 95%)でした。付加価値額は目標値に届かず、総労働時間は計画値を上回ったため人時生産性の達成率は 91.6%、労働生産性は、計画どおりの人員体制で運営しましたが達成率は 95%でした。

### Ⅲ. 計画事業の総括

#### 1. サービス事業への取組み

理事会の適宜開催や諸規定の改定を行い、事務の効率化、経営管理体制の整備に努めました。また各拠点の収益計画、生産性目標値の達成支援を行い、職員体制管理や労働時間管理実施のサポートを行いました。

人材定着施策は、ヘルス・マネジメント計画推進による安全衛生、健康管理の実施、残業時間等の管理徹底、サンクスカードの積極的活用、社内報の新規発行等を行い職場環境の整備に努めました。また、若年層確保の為、学校訪問や企業説明会への参加、インターンシップや実習生の積極的な受入れに努め職種理解を深めていただきました。

以上のことから令和4年度の事業計画は概ね実施することが出来ましたが、数値目標が未達の項目については、要因を検証し次年度以降の課題として取り組んで参ります。

#### 2. 人財育成への取組み

事業所内外研修は、新型コロナ感染対策により計画上見送りや参加人数が制限されたものもありましたが、実施方法を工夫しながら人財育成の支援を行いました。組織環境構造マネジメント研修及び自立支援介護研修は、今年度もオンラインでの開催となりましたが、円滑に運営することが出来ました。

#### 3. 地域との関係強化への取組み

地域活動を通してPR活動に努めてまいりました。現在の取組みを地域の方や関係者へ精力的に発信し理解を育んでもらう機会を積極的に設けていくこと、複雑化する地域のニーズに対応していくため、多角化・多機能化の推進が課題となりました。

#### 4. 生産性向上への取組み

担当業務の入れ換えや給与処事務の分担等を行い特定職員へ業務が集中しないよう業務量の平準化に取り組みました。

#### 5. 施設整備への取組み

現在の会計ソフト（TKC）をクラウド化しました。データのバックアップ先として最適な環境に整え、災害等の緊急事態に備えました。入力されたデータが各拠点で迅速に確認することが可能となり、経理業務の効率化を図ることができます。

令和4年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下のとおりです。

【サービス計画】

1. 総務関係業務

計画上の事業	実施内容・成果等	
評議員会・理事会等の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員会は定款に規定されている決議事項を審議する為に、定時評議員会を開催しました。</li> <li>・理事会は6回開催し、法人の業務執行等に係る事項について審議するとともに、理事長等の職務執行報告を行いました。</li> </ul>	
人事管理制度の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価の適正な運営を行う為、考課者訓練を実施しました。</li> </ul>	
ヘルス・マネジメント推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園外活動及び施設外における事故防止に向けた取組、誤飲誤食等の事故防止について注意喚起を行い、環境の整備に努めました。</li> <li>・転倒災害防止に向けた取組、必要な対策を示し安全衛生意識の高揚に努めました。</li> </ul>	
人材定着施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長より職員に対し、誕生日プレゼントの贈呈を行いました。</li> <li>・サンクスカードは職場内及び事業所間で活用し、コミュニケーションの活性化に寄与しました。</li> <li>・職員間の交流、親睦を図る為の法人懇親会及びスポーツ大会は、感染対策により見送りましたが、代替として写真コンテストを実施しました。</li> <li>・残業申請等の仕組みを改善し、スムーズな管理ができるよう指導いたしました。</li> </ul>	
	K P I	K P I 実績
	離職率 7%以下	離職率 14.0% (前年 10.65%) うち正規職員離職率 9.8%、 (契約職、パート職は高齢または転職が主だった理由)
社内報の発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間3回発行しました。法人内における職員間のコミュニケーションの促進、情報共有に努めました。</li> </ul>	

## 2. 経理関係業務

計画上の事業	実施内容・成果等	
管理会計資料の作成	・試算表の作成他、各拠点の収益状況等にかかる分析管理資料の提供を行いました。	
	K P I	K P I 実績
	管理会計資料作成率 100%	作成率 100%

## 3. 広報関係業務

計画上の事業	実施内容・成果等	
SNSの運用	・年間ブログ更新数は66回でした。前年比増加しましたがKPI未達となりました。最新の情報を忠実に織り込み、定期的な発信ができる仕組み作りが課題となりました。	
	K P I	K P I 実績
	各拠点年間ブログ更新数 130回	更新数 66回
制服改定について協議	・広報委員会を通して、コンセプトや機能性、経済性、利便性等を協議し、改定の検討を行いました。	

## 4. 事業支援業務

計画上の事業	実施内容・成果等	
各拠点収益計画達成支援	・各事業所へ収益状況資料を毎月提供し重要指標である生産性の目標値達成の後押しを行いました。	
各拠点の運営支援	・計画に沿った事業実施のサポートを行いました。高齢者福祉事業部会、児童福祉事業部会では各事業所と情報を共有し、協議された課題や改善点をマネジメントに結びました。	
外国人介護技能実習生受入体制整備	・7月に技能実習生3名を受入れました。住居環境の整備を行い、支援担当者が実習や生活面のサポートを行いました。	
人材確保の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒者等若年層確保のため、学校訪問や企業合同説明会等に参加し、情報の収集、人材の発掘を行いました。</li> <li>・高卒1名採用（大阪健康福祉短期大学派遣）しました（令和7年3月卒業予定）。</li> <li>・大阪健康福祉短期大学在学の外国人留学生1名と奨学金貸借契約を締結しました（令和6年3月卒業予定）。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も明誠高等学校修学資金貸与事業に参加し1名の方と貸付契約を締結しました。(令和8年3月卒業予定)</li> </ul>
法人パンフレットの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所と協働作業により更新いたしました。</li> </ul>
法人紹介DVD作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り進めることができず作成に至りませんでした。外部委託等検討してまいります。</li> </ul>
インターンシップの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢上高校の希望学生がおられましたが、町内感染症拡大により止む無く見送りました。</li> </ul>
新卒職員の派遣研修精度の周知、利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢上高校及び島根中央高校、邇摩高校へ訪問し、新卒職員派遣研修制度について説明を行い、派遣職員確保に努めました。(令和5年4月1名派遣)</li> </ul>
益田永島学園明誠高等学校修学資金貸与制度の周知、利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石見中学校、瑞穂中学校へ訪問し、貸与事業について説明を行い学生の確保に努めました。</li> <li>・貸与制度の希望者1名と契約を締結しました。</li> </ul>
自立支援介護研修運営サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織全体での取組による実践の定着について、コンサルと協議しながら進め方を工夫して参りました。制度的な仕組みを理解し、システムの中で実践事例を取り組んでいくことを周知致しました。</li> </ul>

## 5. 人員体制の状況(常勤換算)

(単位：人)

役職名	計画		実績		差異	
	正職	非正職	正職	非正職	正職	非正職
事務局長	1		1			
次長	1		1			
課長	1		1			
一般職員	3		3			
計	6		6		±0	

## 【人財育成事業】

### (1) 事業所内研修

実施した研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
考課者訓練	係長以上	1名	・人事考課の適正な実施について研修を行いました。
人権・権利擁護研修	一般職員	45名	・高齢者、児童虐待発生の要因、自己覚知について学びました。
ハラスメント研修	一般職員	30名	・パワーハラスメントの定義、予防する為の取組み、対策について学びました。
組織環境構造マネジメント研修	正規職員		・個人が成長する組織の原理原則を学び、行動ルールの実践に取り組みました。
労務管理研修	施設長所長	4名	・雇用、労働時間等を中心に労務管理の実行者としての基本を学びました。
会計研修	施設長所長	3名	・財務諸表を読み解くポイントについて学びました。

### (2) 事業所外研修 (外部派遣研修)

実施した研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
人権・同和教育推進協議会研修会	事務局長	1名	・多様性や人権を尊重する社会の実現を目指す取組みについて学びました。
社会保険実務者研修	事務局員	1名	・給与支払事務に不可欠な最新様式の保険等について学びました。
生産性向上推進セミナー	事務局次長	1名	・介護現場が生産性向上に取り組む意義について学びました。
労働時間管理研修	事務局課長 事務局員	2名	・労働時間の適正な把握のために講ずべき措置について学びました。

### 【地域との関係強化への取組み】

実施した事業	事業内容・成果等
公益事業の推進支援、広報活動の推進	・事業課職員が活動支援を十分に行うことができませんでした。 ・広報委員を中心とした活動策の協議ができませんでした。各事業所では情報発信に努めて頂きました。

### 【生産性向上への取組み】

#### (1) 業務の見直し

総務業務と経理業務について、業務の効率化とリスク管理の観点から、担当業務以外の業務に携わり、相互の業務内容を理解し習得することに努め、経験値を得ることが出来ました。

会計ソフト TKC クラウド導入により部分的に自動化され業務改善に繋げてまいります。

#### (2) 各拠点業務の見直し

各拠点に対し業務の効率化を図る為、5 S 活動等職場環境の整備や業務の明確化と役割分担、ICT化の導入等について提案及び助言を行いました。

### 【施設整備事業】

実施した施設整備等	実施した内容等
(計画外施設整備) 会計ソフトクラウド化	BCP 対策及び経理業務効率化を図る為、クラウド環境へ移行しました。

### 【積立の状況】

(単位：千円)

積立目的	計画	実績
その他	600	1,035 (うち科目変更分 435)
計	600	1,035

※725 千円 (科目変更) の取崩を行っております。

### 【感染症・災害への対応への取組み】

感染症・災害への対応力を強化する為の、BCPに基づくシミュレーションや訓練は引き続き課題として取り組んでまいります。

以上